竜丘公民館報
No. 41
発行人 木下右治
編集人 編集部
印刷所 龍共印刷株式会社
発行所 竜丘村公民館

待望のピアノ来る

歓聲あげる子供達

昨年五月ピアノ購入対策委員会の発足以来村内に種々論議の種を蒔いたピアノが、去る八月八日無事学校に到着した。

丸通の自動車が校門を入ると、校庭で遊んでいた子供達が「ピアノだ、ピアノだ」と歓声を揚げて迎へる。一応小学校の音楽室に納め荷造りを解き部品を組み立てる。ホオーツと言った表情で集つた関係者の顔も明るい幸い異状もない。山葉の平型二十五号、価格三拾六万五千円のもので、カバー、椅子等附属品は飯田精琴堂の寄附である。

對策委員長橋本玄信談

「待望久しかつたピアノが出来たのは誠に嬉しい限りだ。この為に全村民が特別に金を出し合つたのだから学校でも特に大切に永く使つてもらい度い。今ある旧ピアノも寄附で貰つたさうだが今度も又校門を入ると、そう言うことになつた。寄附帳の中味はまだ少し調理する必要があるので、いづれ時期を見て発表することになると思うが、目標額は出来ている。見通しが確実になつたから、一日も早く現品を手に入れるのが得策だと考えて、ピアノを受取り集つただけ一部代金を支払つた。九月末日迄に寄附金の完納をお願いし度い。「学校のことだから」「子供達の為だから」というので、苦しい中を皆、非常に熱意を持つて骨を折つて下さつた。（以上）

教育長（今村玄吾）談

村民の理解によつて自主的な寄附でピアノが購入出来たと云う事は実に結講です。正式には八月十日に対策委員会より寄附の申し入れがあつたので心良く受入れた。小学、中学何れえ入れるかは、近く委員会で決定する。

公民館費を増額せよ

青年會運動展開

本年度における公民館予算の甚だしい減少にかんがみ、本年青年会は七月定例代議員会で、公民館費増額運動を行う事に決定された予算が昨年の六十数万円、（決算額七十数万円）に対し、今年は五十万円と減額されてる為に現段階では何もできない状態にある。五十万円と云えば大きい額の様ではあるが、負担金（ナトコを含む）が十六万円、図書館及編集に約十三万、光熱消耗品会議費等を差引けば事業費が無くなる事は当然の事である。要するに、公民館運営の基本的経費が五十万で、それ以上が事業費となると思う。事業を行う事によつて社会教育の目的が達せられるのであつて、基礎経費のみで、事業費が出来ないという予算は実にナンセンスと云わざるを得ない。一方学校教育費は年々増加し順調な発達をなしている点は甚だ結講であるが、これは学校教育重点主義的な教育委員会の意であるなら、教育委員の新時代に於ける感覚が問題とされる。かゝる状態を考え、茲に青年会が社教費増額運動に乗り出したと云う事は賢名なそして青年でなくては出来得ぬ事であろう。運動の第一段階としてこの程次の様な陳情書を村当局及教育委員会へ提出した。

陳情書

戦后村民の要望と村当局の御理解によつて設立された公民館も、すでに七年余を経過し、愈々軌道にのつて参つたと思われる今日、本村社会教育を考えて見るに、戦争の犠牲によつて満足な教育もう受け得なかつた青年層を中核とした社会教育の必要性は、実に多大なものだと考えます。

村の発展、文化向上は社会教育にまつところが多い事は今更申す迄もない事です。

昨年度の本村公民館運営の反省事項として、予算が少い為に計画された事業も完遂出来得ず特に文化祭が出来ないと云う事が大きくとり上げられて、本年こそは二年がかりの文化祭（農芸品評会）をやりたいと希望されていたのですが今年の公民館予算は昨年度より更に少いために、村民待望の文化祭はもちろんの事、すべての事業が運営困難と云う事ですので教育委員会並に村当局として特別の御配意下され、誓処ざる様青年会として強く御願い申し上げる次第であります。

私達としても村財政の苦しいと云う事は承知の上です。又今回の風水害によつて多大な損失を蒙り、お互いに困難を経済事情の中ですが、昨年来の村民の要望と殆んど犠牲的精神によつて運営している公民館の実態をよく御くみとり下さつて、同じ村の公共団体であり村作りのもとである社会教育の促進の為に宜敷く御配慮下さる様かねて御願い申し上げます。

（写真は新らしく購入されたピアノ）

あなたの土地はどうですか？

政府が農地改革の成果が守られて居るかどうか監視するために農業委員会を通じ毎年八月一日現在にて、所有地及び貸付地借入地等全筆について申告調査することになつた。

主として調べる事項は

一、制限面積以上の小作地を所有しているかどうか。

二、実際には小作されているのに自作地扱いにされているものはないか。

三、許可なくして土地を取り上げられているものはないか。

などでつまり農地法が本当に守られているかを調査するものです。

本村に於ても近く調査員を通じて申告書が届きますが、所有地、貸付地、借入地、自作地、全筆の状況を正確に記入して農業委員会へ提出して下さい。

農業委員会は内容を検討した後調査書を作成し農家の皆さんに縦覧に供します。

本年度産業部事業計画

一、農事視察（上郷村反保組合）　八月
一、水稲多収穫品評会　十月
一、講演会　三月
一座談会
イ、機械化農業研究及耕転機使用田の結果発表　十月
ロ、水稲栽培について　十月
ハ、農業経営について　二月
ニ、養蚕について　三月

水害見舞を頂く

七月の本村の被つた水害に対して御見舞を頂いた。左記諸氏に厚く御礼を申し上げます。

一、八月九日に倉敷毛織準工場の飯田出張所長さんが本村役場をお訪ね下され、金壱千円の見舞金を頂いた。これは郷土出身の従業員一同の方この御厚意によるものであるとの事でした。
一、中部日本新聞社から薬材等十五点を頂いた。
一、日赤長野支部から手拭四十本を頂いた。

本村水稲品種別作付面積（二十八年）

品種名	作付面積
農林二二号	三四三反七畝
綾錦	二五〇、二
若葉七号	二四〇、九
金南風	二二五、四
伊那糀一号	七〇、二
その他粳	一八四、二
東京糯	三一、〇
玉糯	三六、七
富草糯	九、六
その他糯	三一、一
計	二三三、八

隨想リレー（一）

随想をリレーして行きます。スタートは小林誠氏です。バトンは筆者の指名によつて渡されます。次回のバトンは前中学校長竹上清人氏に渡されました。

隨想

小林誠

自分は先頃幼児を失つた。塵をば墓に帰して一切空とよくわかつて居り乍ら、西田幾太郎先生ではないが、人間の愚痴の貴さ、又甘い涙のねうちをも感じられるのである。

二階にナタネが延にほしてあるその児の足跡がナタネについている。それが死んで一ケ月たつても片付けられない。家内が泣く泣くもうこれであの子の足跡も消えるーと云い乍ら片付けた。こんな事は人の親の誰しもが持つてくありふれた経験であろう。余りに多くの死にふれて来た自分の野戦生活、又死と云うものが余りに大量生産的にあつかわれる現代、ともすれば自分一個の心情の容器へは大量の悲しみはもり切れないで、却つて沢山外へこぼれ出して了つて居た。然し子供の死は突然足許にあいた深いあなの様になつてそこから泉が湧き、そこに小さい美しい花が咲いて居る様な気がするのは人間の生き方に通ずるものの動きと感知する鋭い直観力があつて、合理的に時に飛躍的に生活を押し進めるところに人生の妙味があるのである。（木下）

昔、熊谷直実が平家の若武者維盛の首をとつてから、自分の同年の子供を思い出家して了つたと云う話は、矢張りごくありふれた人の心の泉のほとりに咲く花の一つであろう。人の言葉の慇めや御説教はいとはしい。道理は分り過ぎているのだ。然し又何と子供の生命の宿つていたこの入れ物、死んだ亡き骸そのものゝいとほしい事よ、少しも執着しているわけではないが実にいとほしい。明日は晴々と笑つて子供を墓に埋めてやると思い乍らも、夜はすでによくない臭がしているその子を自分の蚊帳の中に入れ、側にねかして眠るのである。

形式主義の愚と形式主義の大切さ、今更肉体そのものゝ貴さが感じられる。又何とこれが浅く粗末にあつかわれているかと気づく。現代は人々が死と云うものについては一応解決しているのかもしれない。然しそれだから尚一層肉体の方が忘れられ、未解決に放置されているのかもしれない。この肉体にある無限の秘密、これに聖なる神性がある。男女間の愛情の問題も肉体のこの聖なる深さに於てゞなくばならないであろう。

○

小さい子供が一生懸命絵をかいている。足が小さいねと云えばその代り手が大きいと云つてすましている。親だけしか見るねうちのない絵だが仲々生き生きしたものである。家で少しも仕事の手伝いなどしない子供の絵は人をかいても手がまつすぐに下にぶらさがつている、ときいて成る程と感心する。兄さん姉さんの絵をまねて書いたのは一見大変上手だが生きたものがないと云う。大人の世界にも仲々人の絵をうつしてかいたみたいなのが多い。一見手つとり早く、見事であるが決して生きたものとなつていない。自由と云い、文化と云い、或は信仰と云つても本当に自分達が真実に苦労して育て、来たもの、それが凝視され、燃焼されてこそよし遅くとも自分達の将来をきめて行くのであろう

PTAなんかで聞く講演会でもおとなしく並んで中央から来た偉い先生の御話を御宣托みたいに拝聴して帰る。くんぞ予算一杯、田舎では仲々の大金をそれに用いるのだが何かそこにも一つ自分達の道にふれてくれ、呼び起してくれるものがない。一体一日一万円と云う謝礼は、中央の名士にしてみれば決して儲にはならないものだそうである。然し考えて見れば一般民衆を指導する人、つまり一般民衆より先によいものを得ている人達が高い金をとつてでなくば、それをしないと云うのでは天国の来る時はない。本当によいものをもつている人は、これを最大限安価に人々に分け与える事が喜びで特権と感ずるに違いないと思う。大体金がかゝるものと云うのは本当のよいものではない証拠であるかもしれない。所詮はなくてはならない所の啓発者のいぶきではなく、つきなみの取り引き的なもので、専門に対する小売商人みたいなものであるかと思う。先方には儲にはならずこちらには損にはならぬ程度、これも時代の相かも知れないが、土の誇りをもつ自分達の村としてはもつと生き生きした自らの開発を皆で考え、皆でもつて行かなければならない。先に予算、先に金と云う感じのするものが何かしら一応考えて見られてよいと思う。

○

碁と生き方

最近ごろの新聞をみると、碁譜の載つていないのは稀い位で、いかに碁や将棋が一般に愛好されているかがわかる。

碁や将棋は無限の変化があり、無限の深さがある。哲学者三木清氏は碁を愛好し「碁の根底には直観力が働きそれが合理的に構成されて行くところに無限の興味がある」という意味の事を言つた戦術家が碁や将棋の指し方を作戦に応用した事はしばしば言われている。

消極にすぎると自分の領域は萎縮してしまうし、そうかと言つて積極的に進み過ぎると根底からひつくり返されてしまう。自己の地歩を充分にかためると同時に相手の虚に乗じて切り込むだけの決断もなければならない。守り過ぎてもいけないし攻めすぎてもいけない。攻守紙一重のきりぐ〜な手を打ちつゞけて遂に勝を制する事が出来る。

主催は明確に

近頃学校で、ひんぱんに映画が上映され村民に悦こばれているが一部の意見として、左の様な見解をもつているので、公民館としての明確にされたい。

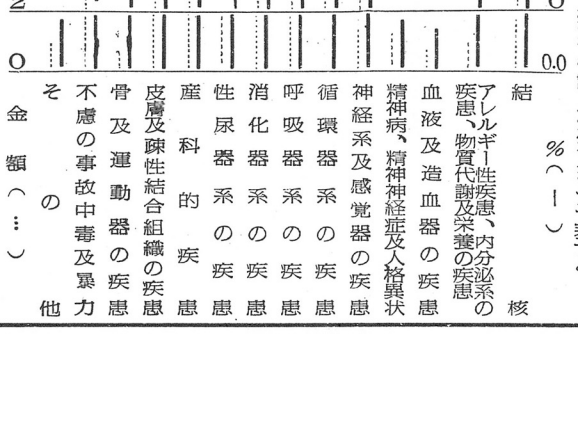
うわさによれば、南信映画社の興業であつて、脱税の為に公民館主催の様に見せかけて、しかも公共施設を乱用しているのではないか、そうであるなら、教育委員会及公民館の問題として取り上げるべきでしよう。又公民館主催であるならその様にはつきりして行うべきであろう。こうした村民の疑惑は、色々なる形で発展される恐れもあるので注意を要す。

國保の受診状況

（国保係　原）

国保四月分の受診状況を見ますと被保険者四、五二一人の中一般医に受診した者六〇二人、歯科医に受診した者一五四でこの医療費総額が四二八、八七五円となります。

この中一般医にはどんな病気で受診したかをグラフで表すと、次に総額を部落別にすると



区別	被保険者数	受診人員	受診率	金額	順位
駄科	一、四七二	二一九	一五%	一二〇、二五〇	四
長野原	三一〇	五五	一八	一六、六六五	二
時又	一、一三八	二三九	二一	一六四、九九七	一
桐林	一、〇九五	一七七	一六	九三、二二六	三
上川路	五〇六	六六	一三	三三、七三七	五
計	四、五二一	七五六	一七	四二八、八七五	

これで見ると上川路の方が一番健康と云うことになります。

堂々優勝

中部ブロック青年野球

去る八月二十三日、本村校庭で各村対抗中部ブロック青年会野球排球大会が行われた。野球は郡優勝候補鼎を四対三で破り、決勝戦は伊賀良を八対五で破り堂々優勝し、中部ブロック代表として来る九月六日の郡大会へ出場の予定、本村青年会が中部ブロックへ加盟して始めての優勝であり、郡大会へ出場出来るのも近年まれな事にて、体育部長岡村次郎氏は、はりきつている。女子の排球は、力斗効無く残敗した。

PTAで村の伝統の学校に対する深い信頼の熱意が段々花を咲かして来ている。先生方の熱心にもありがたく思う事もある。それと同時に今一つ学校に対して情熱的を切り込みの眼をば見開いて行きたいと思う。ともすれば昔ながらの信頼性がおまかせ的になる。家庭の場合にしてみても夫婦が生きて、生きした意見のかわされるのに、興味が失われる事があればそれは健在ではない。

完成！新しい飼育所

稚蚕飼育所の構造は（天竜育）原則として厚壁土蔵造にして置屋根式とされて居る。

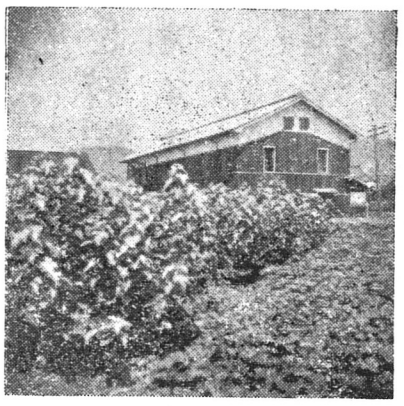
従来本村飼育所は産業組合製糸時代に於ける貯繭倉庫を改造利用して来たのであるが、幸いこの倉庫の構造が厚壁土蔵造りにてこの飼育に適合し二棟の倉庫に改造に依り今日迄の飼育が出来然も好成績を納め得る事が出来る事は共に御同慶に耐えません。

然るに本村産繭額は急速に増加し狭隘を感ずるに至り玆に急拠新築の運となり、昨年十二月各位の熱意ある御協力に依りまして、建築する事に決定致し、工事は御承知の如く本村出身の木下建設の請負にて着工し、予定通り進行して近代的稚蚕飼育所として理想的な位置に最も具備した設備を以て竣工いたした次第であります。

次に飼育所の設備等について大要を記すと先づ飼育所の環境と条件であるが、これは最理想的と言つて過言でないと思う。通風排水共に良好なる長野原大地にて建物は、東西に長く、窓は南側並北側に二間に三尺宛とり地下室の排水は幸に地下水が底いので三尺の吸水槽にて洗滌等に依る大量の水も三本の穴に全部滲透して完全に排水出来るようになつて居る。

建物の大きさは五間に十七間の地下共に三階建であり、地下室は貯桑室並切桑室となつている。

地下室は東の隅と西の隅の二ケ所から、六尺の階段にて出入出来るようになつて居り、二馬力のモーターを設置し、二台の切桑機、二三階へ桑を上げる昇降機並動力噴霧機の運行を図るようになつて居る。又貯桑用の撒水並洗滌消毒等に必要なる水はこの地下室の一角に水道を設けて、作業に便ならしめて居る。



・：完成した飼育所：・

次に建物の構造であるが、これは厚壁土蔵造とし、壁は正六寸の厚さにぬりそれに防水用下見板を打つてある。窓口は戸を障子の引違とし戸はオガコ入りの重復張として、防暑防寒装置をなし常に外温の支配を受けない様になつて居る。尚三階天井は同じく防暑防寒用にオガコを六寸厚に敷き、屋根裏は通風出来る様に東西に開閉窓を設けて屋根裏からの醸熱を防ぐ様になつて居る。室内の保温は電熱器にて一階飼育室は一キロ一〇基、二階は五〇〇を一〇基にて目的温度の保持が出来るようになつて居る。この電熱器は二段切換にて自由に調節出来、この点従来の炭火に依る保温から見れば温度の激変少く調節が便利で労力の節約が出来、尚炭酸ガスによる事故者もなく非常に便利である。

次に作業の点であるが、蚕室の設計並あらゆる設備を機械化してあるので、この点従来から見れば雲泥の差である。先づ給桑の点に於ても現在一回の最大給桑量は二〇〇貫であるが、二台の動力切桑機にて三、四十分位にて切ることが出来る。これ等すべての作業は、五、六人宛で班を編成し輪番制にてこれを昇降機載で二、三階に上げ夫々運ばれて給桑されるのである。

一端切桑した桑は所定量を秤量して給桑ザルに移し五、六ケを重ねて夫々責任を以て行つている。

予防接種について

予防接種法は御存知の通り昭和二十三年から実施され、本村でも皆さんの御理解と御協力により毎年良好の成績を修めて来ましたが、その効果が最近非常によく顕われて来ましたので御参考までにお知らせします。

（下伊那郡下に於ける発生状況　本年六月末現在）

種別	年度	二〇年	二三年	二五年	二六年	二七年	二八年
腸チフス		六七人	三人	人	一人	一人	人
パラチフス							
痘瘡		五					
ジフテリア		三九	二、二	一	一	四	三
百日ゼキ		不明	八六五	七三七	六七八	四五	二

此の外に結核の予防接種がありますがこれは二十六年から本格的に実施されるようになつたので、まだはつきりした数字は出て来ませんがこれもぼつ〳〵効果を顕しつゝあります。法律で定められたものは〇才から三十才まででありますが、三十才以上で結核にかゝる人が少くありませんので今秋は全面的にツベルクリン反応を実施して、危険だと思われる人は発病しない前に用心する様に真の予防対策を実施して見たいと思います。

九月下旬から十月上旬の中に実施する予定ですから皆さんの御協力をお願い致します。

毎月国保が支払う医療費の中十五%（七万円）は結核のために費されているのです。皆で協力して此の村から結核を絶出して仕舞おうではありませんか。

これら予防接種の副産物としてますことは「時間正確」です。此の地方は一口に下伊那時間と云つて、どんな会合でも三十分や一時間は遅れるのが普通のようにされていますが、本村の予防接種に限つては本当によく守られて居ます。これはひとえに医師先生方の御協力の賜です。何時から何時までと云えば、先生方は万障差繰つて必らずその時間に来て下さるので、始めの中は受ける人の方が仲々間に合わなかつたのがその中にだん〳〵とよくなり、此の二三年は本当に気持よく行つています。これは下伊那時間の汚名を雪ぐため非常に嬉ばしい事です。どんな会合でも主催者側が根気よく時間正確に始めて居れば、自然大衆は動いて来るのではないでしようか。（国保）

村の歴史

中田美穂

②社会制度

（A）武士階級

江戸時代は封建制度の完成期で武士が社会上最高の地位を占め、大名、旗下、御家人等その高下はあつた。

（B）庶民階級

百姓、町人、職人の順位はあつたが国家経済が米であつて、百姓は搾取の圧制で悲惨であつた。

町人は乏より負担も軽く干渉も緩く賞加金、御用金を納めるだけでよかつたが、だん〳〵経済力を増し金力では武士を凌ぐようになり、藩主でも金持には頭が上らなかつた。

（C）附庸階級

僧尼、神宮、医者、学者、虚無僧、山伏があつた。

（D）賤民階級

穢多、非人があり、賤業（履物類製造、革細工）に従事する階級である。

（E）お館と被官

吾が村にはなかつたが、封建社会の主従関係が直接農村に適用された制度であつた。

③民治

（A）村役人

農村は自治制で、お上へ出す書類は左の三役連判でなくてはならなかつた。

庄屋―村里の長

組頭―庄屋の補佐役

百姓代―農民の代表者で村費の割付に立会い、会計の監査役

時又には亦これ以外に問屋役人があつて港の用務に従つていた。

（B）五人組

農村自治の単位で町は町並、村は近隣五戸を一組として共同責任の制度であつた。

（C）御触書、高札

御条目（御触書）は藩主が町村を治める根本の法律で、五人組は年に数回集められて之を読みきかされ、それに背かぬ誓約の調印をした。その御条目中の重要なものの切支丹の禁制、徒党、逃散の禁制などは高札にして掲示する。高札は禁札とも呼び之を立てた場所は制札場（高札場）と称した。

④産業

（A）米作

武士階級の経済は「米」が根本で、農民はその武士のために米を作り出すために、其の土地と共に米作の機関であつた。

米作土地は水田で米作の強化拡充には其の用水の獲得が必要であつた。米作と用水は不可分の関係だから後項に併筋に関する件で詳しく書く事にする。

この時代の農村の産業と言えば大部分が米作であつたが、米は発達し上納年貢になつて農民の食うべきものでなく、粟、麦、豆等の雑穀で自給自足の経営をしなくてはならなかつた。

（B）生糸と蚕蚕

蚕蚕は北信上田地方より順次流行的に増えて来たので、その繭を処理するために元録六年に飯田町本田某が、美濃関町から糸を繰る女八人を呼んで繰糸の技術を伝えたのに始まり、吾が村にも製糸場が出来て生糸を産出した。

（C）紙漉と元結

元録年間に始まり美濃から稲垣幸八なる者を招いて晒紙の製法を学び、駄科、長野原、桐林等に発達し特に冬期間のよい副業となつた。この晒紙から作る元結も元録分で栽植して自給した。

（D）中馬

住民一戸半に一頭の割合で馬を飼つていたので、この農耕馬を利用して農閑期に駄賃稼ぎをしたので、正しい意味の産業ではないから交通のところで詳しく書く。

八月詠草

公民館歌会

○熱落ちて眠り覚めたる目にすがし庭に咲きいるさるすべりの紅（あけ）　木下きの

○夕立が午後は来るらし曇立ちて白き巣墓を吹き上げて過ぐ　北沢新太郎

○夕雨は小降りとなりて高原の芝生（しばふ）ひときあかるさの映ゆ　木下右治

○茶をのむ場所妻と選びて丘畑の葉桜の風浴びつつ憩ふ　岡村美文

○小刻みに翅（はね）ふるはして壁を這ふ美しき蛾を見つつ臥しいる　下平幸恵

○暑げれど鶏頭に寄する陽のきざし何か秋めく物かなしけれ　橋爪丘の人

○限りをき草原踏みて行く方（かた）に草食（は）む馬の姿見えきぬ　今村清松

○山かひの稲田に夏の日はまぶし村図作成の実測に来ぬ　牧内清志

○仕事終えしこの夕暮を父の墓に心寂しきままに来りぬ　林一一

○雨音のいよよ高まり冷えしるくわれは昼寝の布団をかけぬ　久保田楓美子

○子を叱りしわが寂しさに外（と）に出れば哀れほたるが袖にとまりぬ　岡島てるゑ

○にいにいと油蝉鳴く雑木山の緑は映えて夕づきにけり　塩沢義男

○ゆらめきて立ちのぼり行く線香の煙にしばし心静まる　折金久子

○次回歌会九月十二日（第二土曜日）

子供（その一）

中学校長

猫の手も借りたい農繁期。子持だからといつて決して家にのんびりしている事は出来ない。としよりか子供に乳呑子をあずけて麦刈やお田植にも出ねばならない。十一時の時のかねを合図に家にかえつて昼食の仕度。男衆のひるねの間によごした子供の着物をせんだくして置こう。そんな計画を立て、子供に添乳しながらちよつと横になる。五体はくたくたに疲れきつているので子供が乳を離してすや〳〵とねつく頃は自分もうつらうつらと夢路に入る。庭一ぱいにほしたせんだくものに夕立の雨、しまつたと思うとたんに目がさめる右腕がしびれてとてもいたい。

添乳してついせんだくが　夢になり

昔も今も変らないのは子を思う親心。殊に新婚の夢まどかな頃設けた愛の結晶、目の中へ入れてもいたくない程にかわいい、然し子供を育てた経験がない若夫婦それだけ子供の事が心配でたまらない真新しい友禅模様の小さいふとんにねかせ、これまた里の贈物らしいほろがやがかけられて座敷の風どおしのよいところに寝かされている。もう二時間も前からうんともすんとも云わずにねむつているこんなに長い間ねることはめつたにない。夜も何回となくおこされる。そろ〳〵膝の上の味もおぼえて親の背中でなければ仲々ねないそれに今日はどうしたのだろう。そう思うと、もうじつとして居れない。

よくねればねると　このぞく枕がや

五つ六つはいたずらざかり、それが男の子であつて見ればもう手に負えない、ちよつとの間も目が離せないあぶらぜみがあつ苦しい声で鳴き始める頃、はだかで庭へとび出してしまう。帽子もかぶらないでどこへ行つたのかしら。日射病にでもかゝらねばよいが…心配しだすと際限がない。そのうち急に夏空が黒雲におゝわれてかわき切つた砂ほこりをまじえて、ひんやりとした風が木々を動かす気温がぐつと下る。着物をきせなければかぜをひく、が親の心子知らずで、外から帰つて来たま、座敷中をとび廻つて居る。この頭めつきりとしとつたおばあさんなど追いかけて見をところで仲々つかまえる事は出来ない。それでもみなりにへそをとられるのだけはこわいらしい。そこに気のつくのはやはり年の功というもの。

かみなりをまねて　腹かけやつとさせ

図書部員の皆さん

本當に御苦勞樣でした

二ケ月に亘る図書館書籍の整理も部員の日夜の別無い献身的な努力に依りこの程完了した。

今迄殆んど手も入れずに放置されていた書籍も、美麗をラベルで張りかえられ見違える様になり、愛読者の読書慾をいやが上にもそゝるに違いない。

今後も尚一層村民皆様の図書館として発展するよう希望すると同時に図書部員の労を改めてねぎらいたい。

貸出時間は九月一日より午後八時から十時迄と従来通り三十分繰上げられます。

盛況な燈籠流し

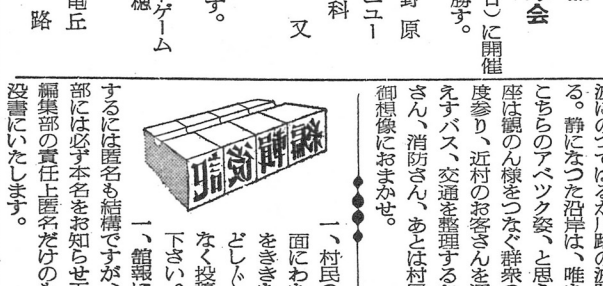
時又商工会は盆の悪天候を燈籠流しで打かえそうと、天竜川辺りのかざりや花火等に力を入れただけの事があつて、今年の燈籠流しは戦後始てのにぎやかさであつたでも一番目につくものは酒とビールのお客さん、続くは角から角へ立並ぶキャンデーやさん嗚うか嗚われるか、老も若きもぞろ〳〵、花火は終り燈籠も大きい波小さい波にのつてはるか川路の波路に消える。静になつた沿岸は、唯あちらこちらのアベック姿、と思うと銀座は観のん様をつなぐ群衆のお百度参り、近村のお客さんを運びかえすバス、交通を整理するお巡りさん、消防さん、あとは村民皆の御想像におまかせ。

一、村民の多方面にわたる声をきゝたい。どし〳〵遠慮なく投稿して下さい。

一、館報に発表するには匿名も結構ですが、編集部には必ず本名をお知らせ下さい編集部の責任上匿名だけのものは没書にいたします。

◇竜丘村分館對抗野球会

七月二十六日（日）に開催し、桐林チーム優勝す。

◇中部支会各村對抗野球会

八月九日（日）竜丘学校庭に開催し、松尾村チーム優勝す。